

平成25年度教育研究活動報告書

氏名	岸本理恵	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	講師
専門分野	日本文学（中古・和歌）		

I 教育活動	
本年度担当科目	
学部	日本文学概論・日本文学特殊講義・中古文学専門演習 a・中古文学専門演習 b・日本文学史Ⅱ・日本文学講読Ⅱ・卒業論文（構想・準備）・卒業論文（制作）
大学院	日本古典文学特論Ⅰ
II 研究活動	
これまでの主な研究業績（5件まで）	
（1）〈学会発表〉「定家監督本私家集の周辺」（和歌文学会関西12月例会（第113回）於大阪府立大学2013年12月7日）	
（2）〈論文〉「定家監督書写本私家集の諸相—江師集・成尋阿闍梨母集・殷富門院大輔集・傳大納言母上集・四条宮下野集・相模集—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第12号、2013年3月、単著	
（3）〈論文〉「藤原定家の書写活動と『有房中将集』」『尾道大学芸術文化学部紀要』第11号、2012年3月、単著	
（4）〈論文〉「伝西行筆和泉式部続集の原形」『尾道大学芸術文化学部紀要』第10号、2011年3月、単著	
（5）〈著書〉『海人手子良集・本院侍従集・義孝集新注』共著（片桐洋一・三木麻子・藤川晶子・岸本理恵）青簡舎、2010年	
本年度を含む過去3年間の研究業績	
（1）〈学会発表〉「定家監督本私家集の周辺」（和歌文学会関西12月例会（第113回）於大阪府立大学2013年12月7日）	
（2）〈論文〉「定家監督書写本私家集の諸相—江師集・成尋阿闍梨母集・殷富門院大輔集・傳大納言母上集・四条宮下野集・相模集—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第12号、2013年3月、単著	
（3）〈論文〉「藤原定家の書写活動と『有房中将集』」『尾道大学芸術文化学部紀要』第11号、2012年3月、単著	
（4）〈論文〉「伝西行筆和泉式部続集の原形」『尾道大学芸術文化学部紀要』第10号、2011年3月、単著	
（5）〈著書〉『海人手子良集・本院侍従集・義孝集新注』共著（片桐洋一・三木麻子・藤川晶子・岸本理恵）青簡舎、2010年	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）古典籍	
（2）古写本・古筆切	
（3）定家監督書写	
研究テーマの進捗状況	私家集の写本を多く比較することでその筆跡を分類し、書写がどのようにおこなわれたかということについての考察を進めている。定家の監督とされるものであってもその関わり方が少ないものがあり、私家集以外についても同様の方法がとられていたので、その範囲や定義が拡大しつつある。これに加えて、定家監督でないはずの擬定家本の意味についても考察を拡げていくつもりである。
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）	
所属学会・所属団体 役職等	
和歌文学会・中古文学会・尾道市立大学日本文学会・関西大学国文学会・大阪府立大学日本語文化学会	